

北海道の自治体クラウドの創造

～ HARP構想の着実な展開 ～

- HARP構想／経緯
- HARP構想／Harmonized Applications Relational Platform
- HARP構想／アウトソーシング、クラウドの歩み
- クラウドコンピューティング
- 北海道の自治体クラウド開発実証事業(全体イメージ)
- 北海道がめざす自治体クラウドのアーキテクチャー
- 次世代型電子行政サービス化調査研究事業(1)
- 次世代型電子行政サービス化調査研究事業(2)－ 業務モデル仕様書の作成手順
- 次世代型電子行政サービス化調査研究事業(3)－ 北海道モデル／推奨Ver1.0
- 総合行政パッケージ北海道モデル／推奨Ver1.0
- 公会計SaaSの概要
- SaaS型サービスの特徴
- 自治体クラウド運用基盤の活用
- 自治体向けSaaSサービス提供方法の整理

平成23年5月30日

株式会社 **HARP**

■HARP構想 — 経緯

国家IT戦略
「e-Japan戦略2003.1」

5年以内に、
世界最先端のIT国家に！

電子政府の実現

共同アウトソーシング・電子自治体推進戦略を公表
— 2004.5 総務省 —

共同化

アウトソーシング

複数の地方自治体が業務を共同化した上で
アウトソーシングすることにより、
大幅なコスト削減と施策の重点化を図り、
雇用の創出等地域経済の活性化を推進。

地方自治体の業務改革

住民サービスの向上

IT関連産業の需要創出

電子自治体の実現

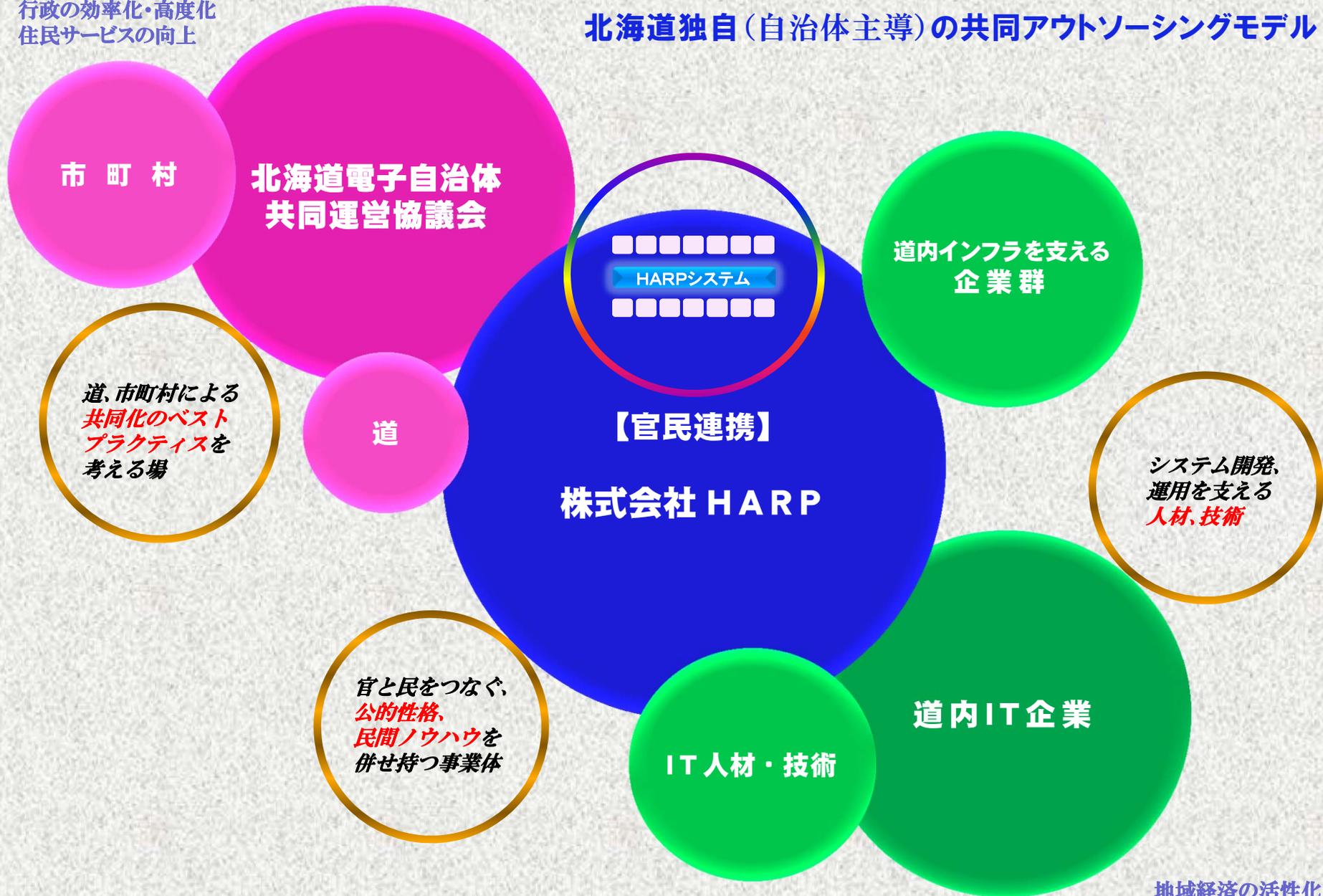
- 道は、この推進戦略に基づく
総務省関連団体の調査研究事業を受託
- 2005.3
「北海道電子自治体プラットフォーム構想」策定

…… HARP構想

■ HARP構想 / H armonized A pplications R elational P latform

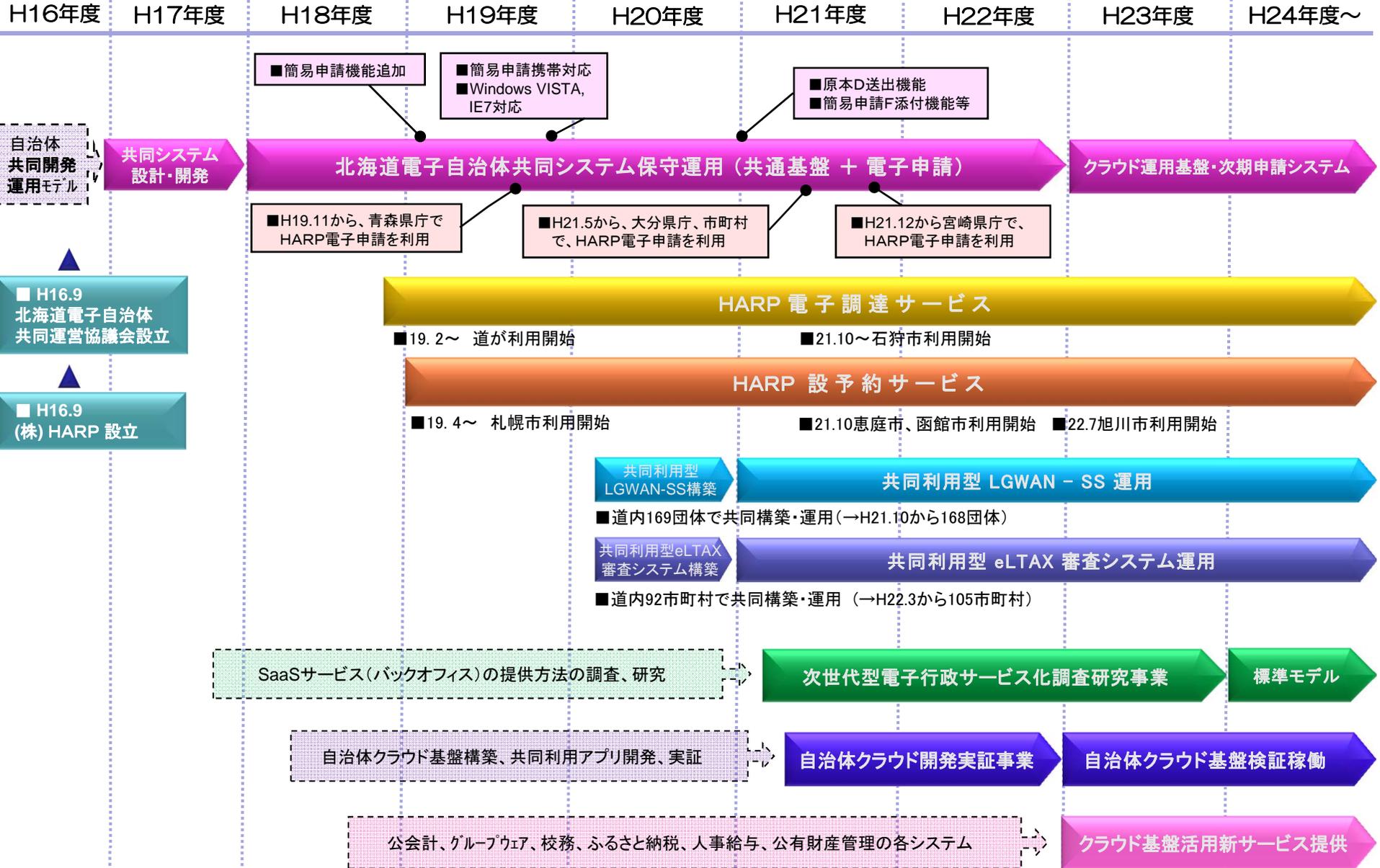
行政の効率化・高度化
住民サービスの向上

北海道独自（自治体主導）の共同アウトソーシングモデル

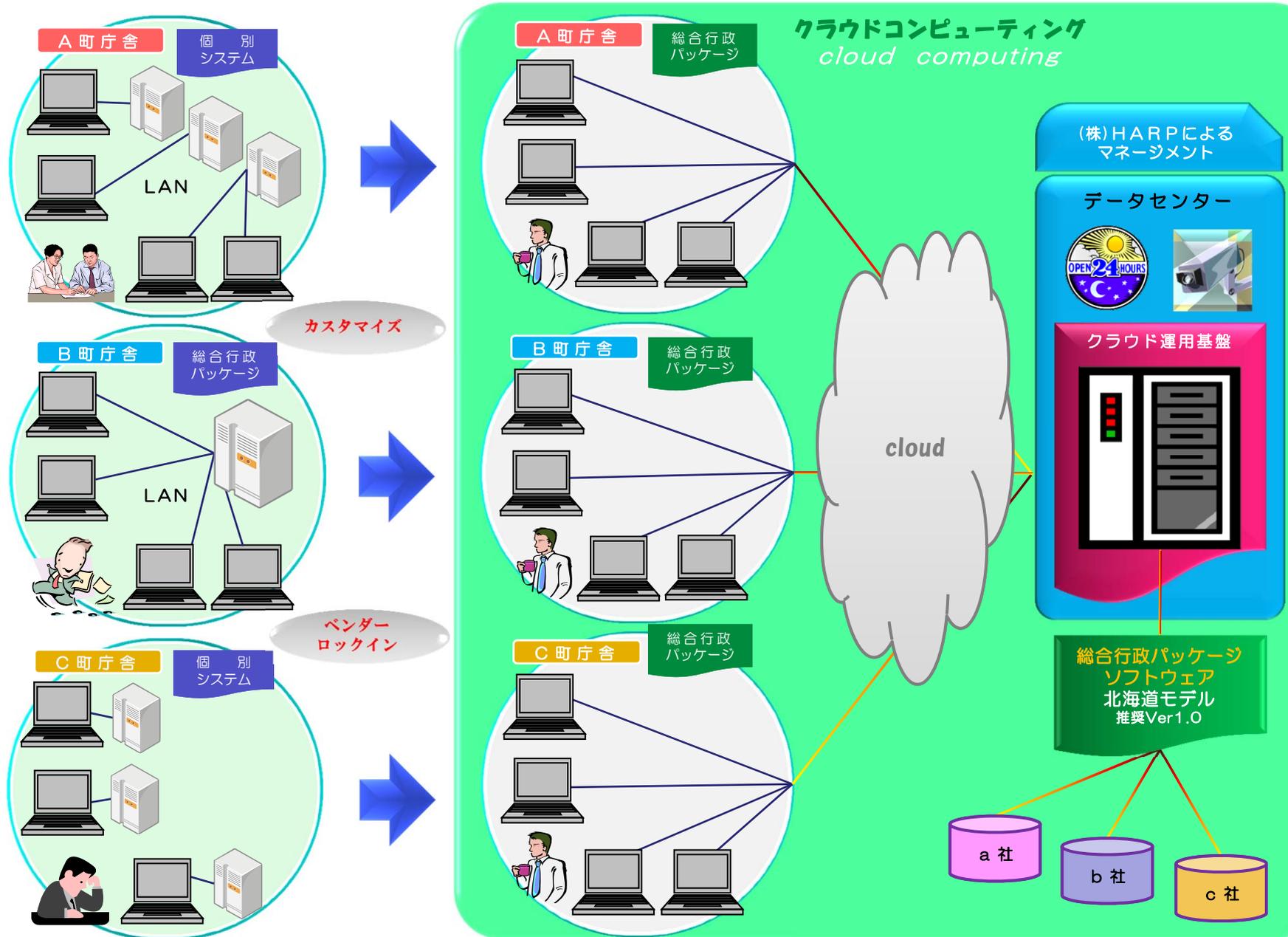


地域経済の活性化

HARP構想 / 共同アウトソーシング、クラウドの歩み



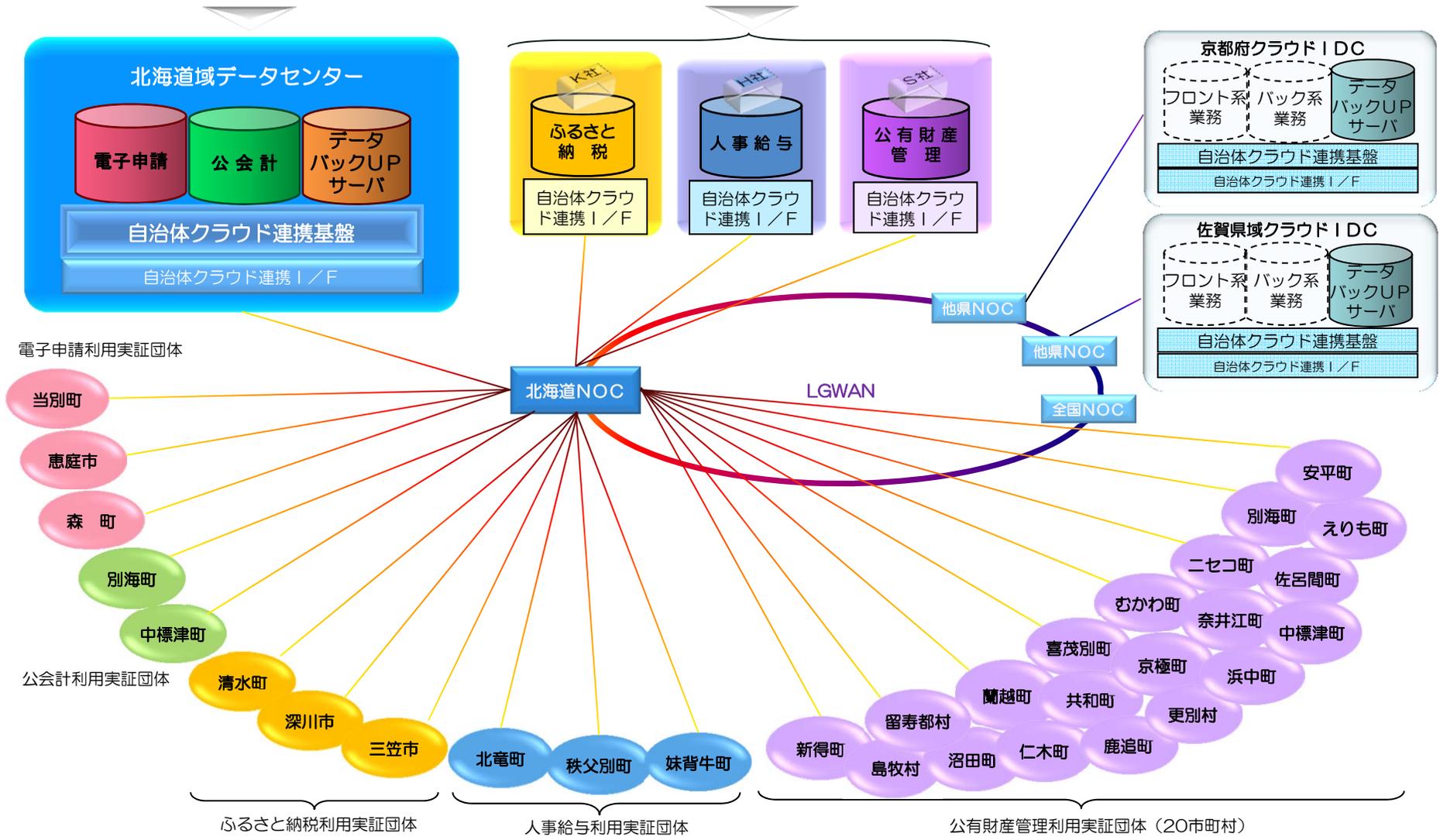
クラウドコンピューティング



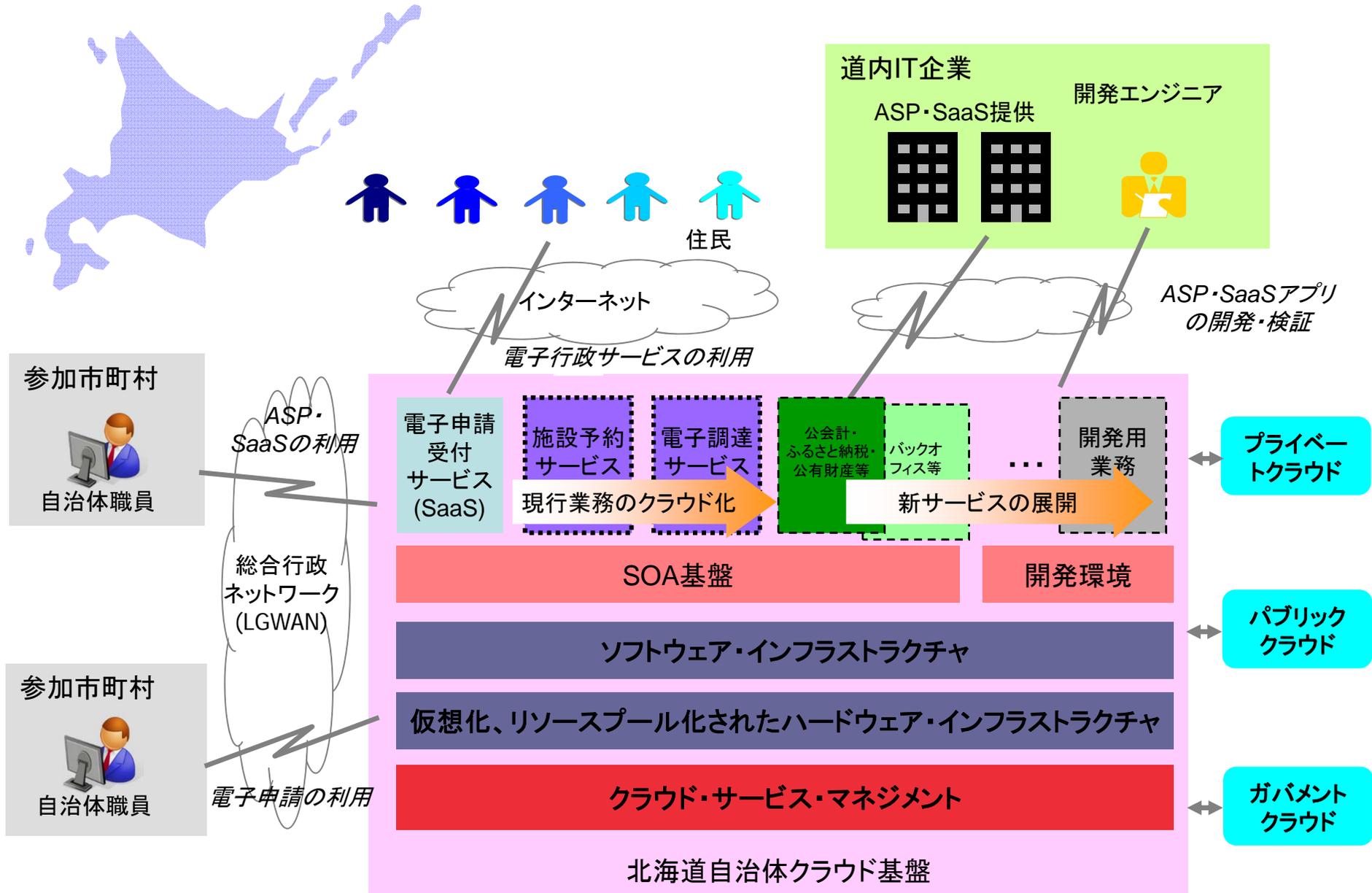
北海道の自治体クラウド開発実証事業（全体イメージ）

- データセンター整備・機能実証
- 共同利用型アプリケーション開発・利用実証
- 京都府、佐賀県域データセンター間接続実証

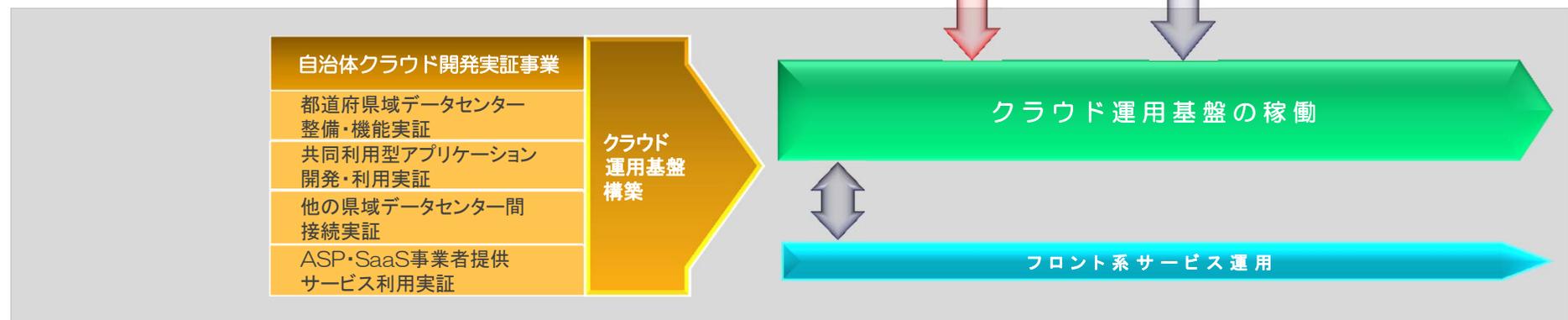
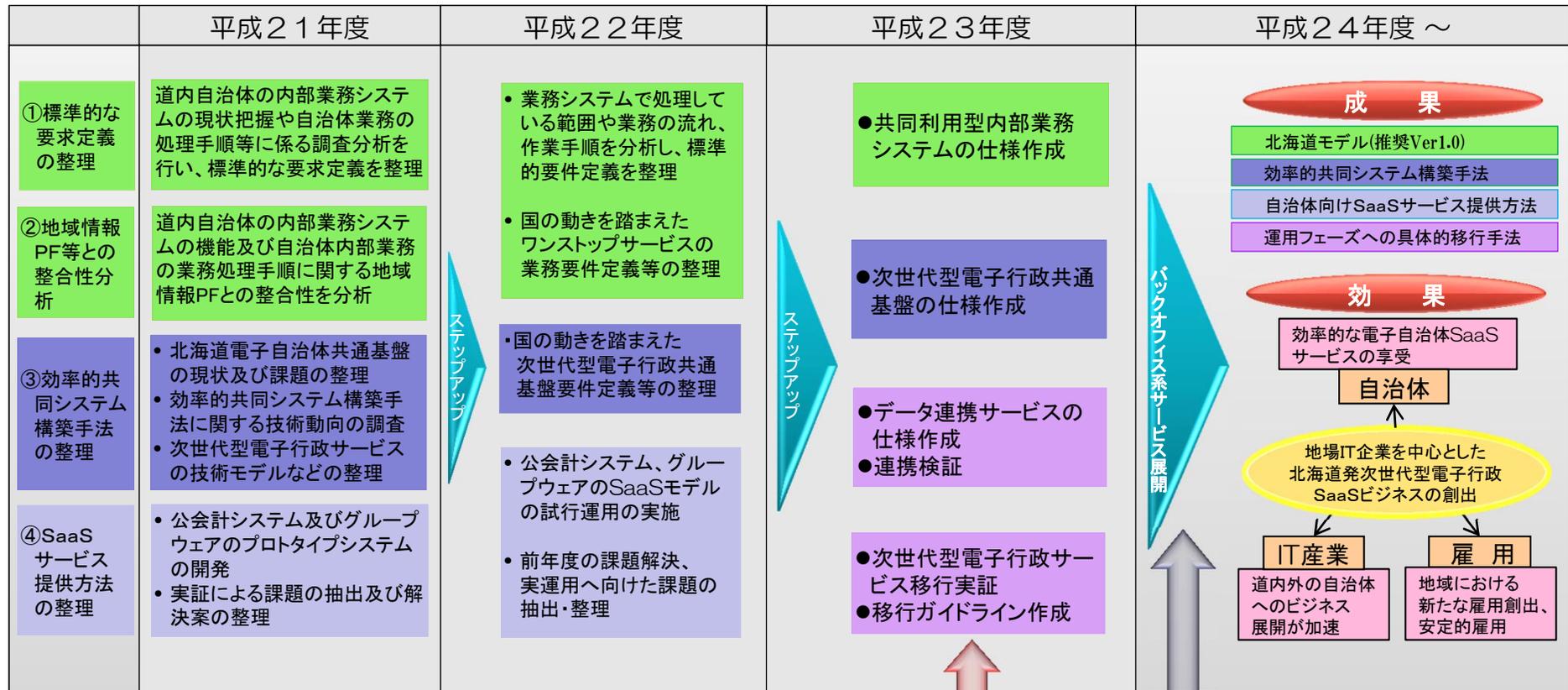
■ ASP・SaaS事業者提供サービス利用実証



北海道がめざす自治体クラウドのアーキテクチャ



次世代型電子行政サービス化調査研究事業 (1)



同調査研究事業（2）－ 業務モデル仕様書の作成手順

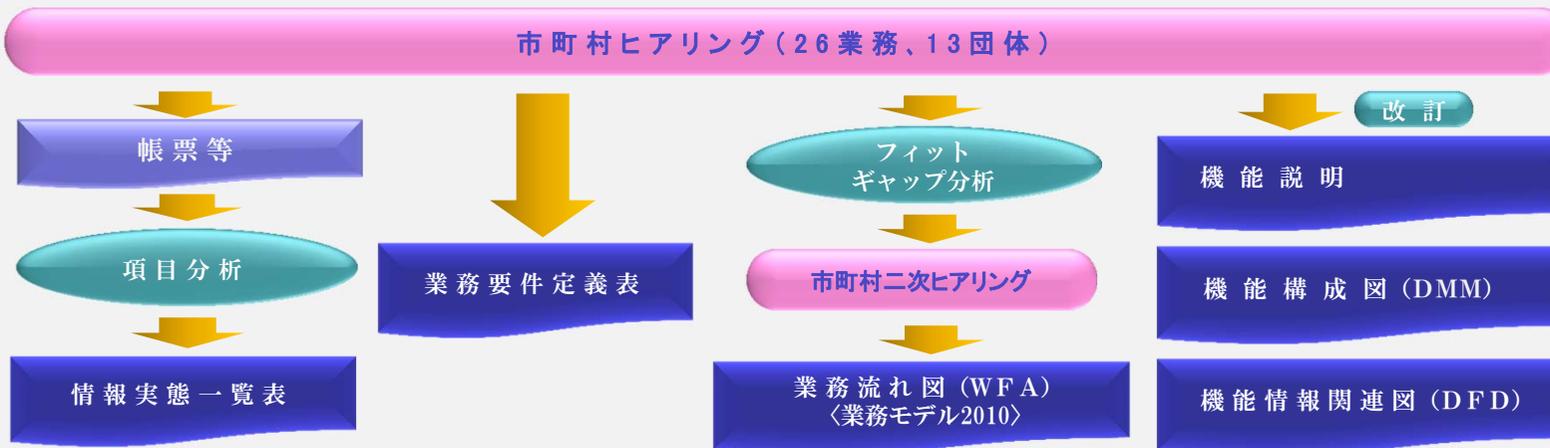
H21

標準的な要件定義に基づく差異の分析・業務手順、業務システムの調査分析



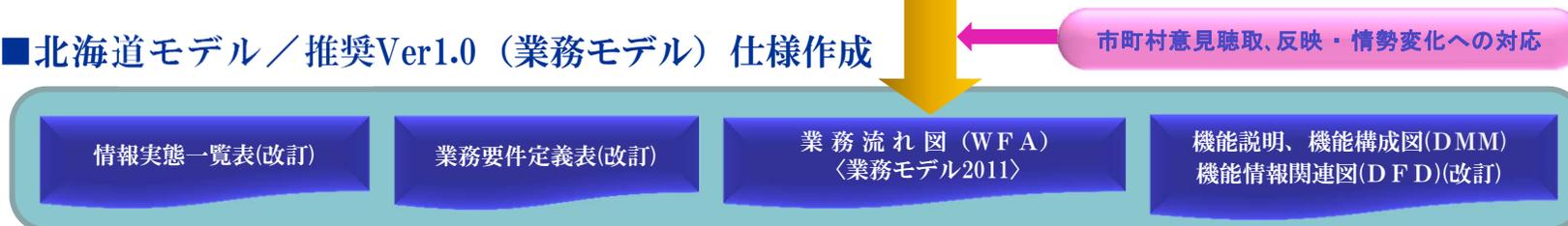
H22

仕様作成のための定義の整理



H23

北海道モデル／推奨Ver1.0（業務モデル）仕様作成



同調査研究事業(3) - 北海道モデル / 推奨 Ver1.0

共同利用型内部業務システム標準仕様書

技術モデル

〈ベンダー向け〉

技術モデルガイドライン

基盤利用に関する仕様書

セキュリティに関する仕様書

データ連携仕様書

データ移行仕様書

業務モデル

〈自治体向け〉

業務モデルガイドライン

サービスレベル合意書

調達仕様書

・サービス仕様書

- └ サービス要件定義書
 - └ 業務機能要件
 - └ ネットワーク要件
 - └ 情報セキュリティ要件
 - └ 運用保守要件
 - └ 施設設備要件等

機能要件定義表

- └ 業務要件定義表
- └ 機能情報関連図
- └ 業務流れ図

・サービス利用契約書

・セキュリティ監査実施要綱



データ標準フォーマット一式

地域情報PF標準仕様、自治体クラウド標準仕様をベースに、システムの基盤利用時の要件について検討

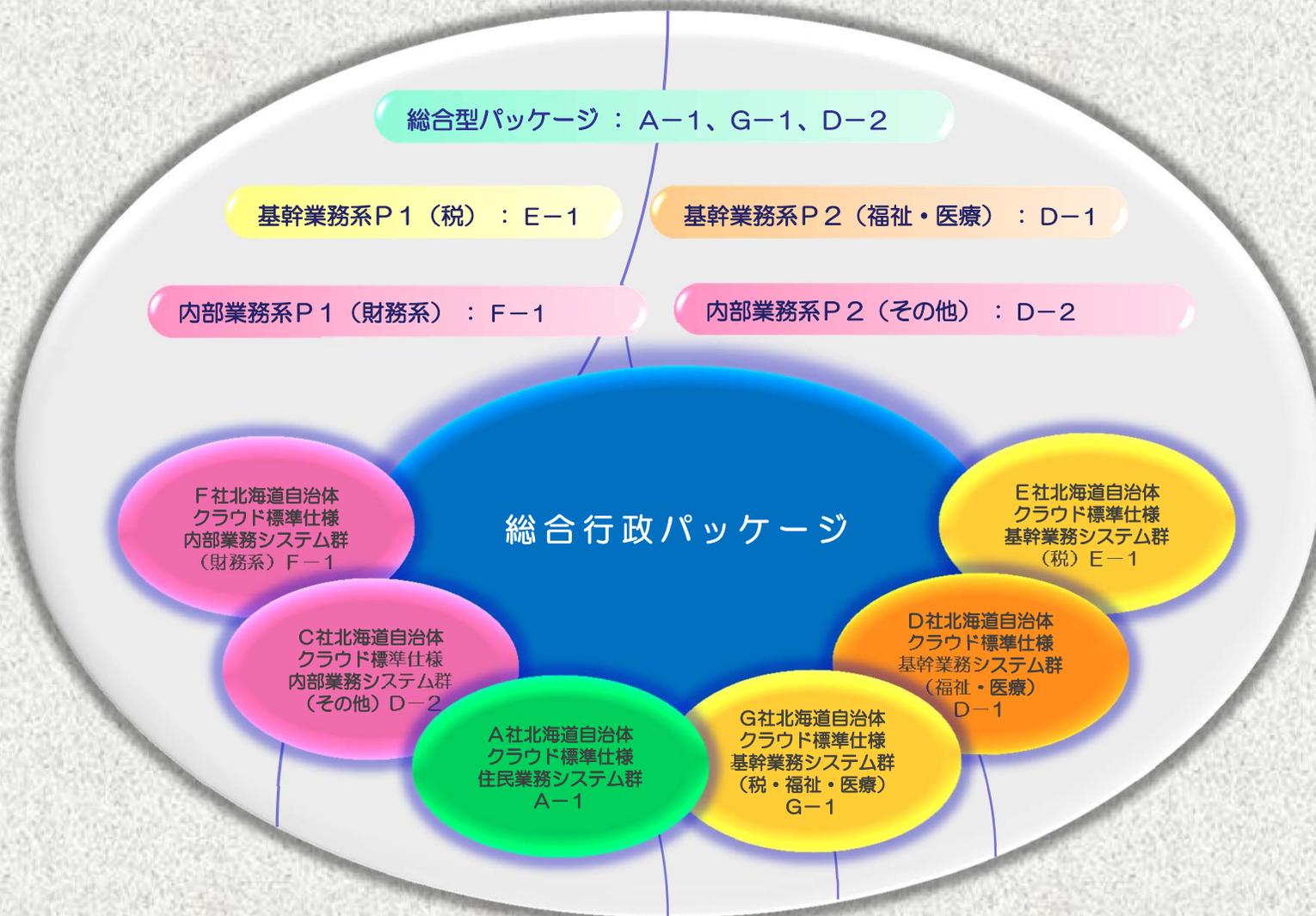
総務省ガイドライン、指針をダウンサイジングし、ブラッシュアップ

道内市町村の業務フローをベースに比較、分析し、最適な業務フローを検討

地域情報PF標準仕様を道内市町村の実態と比較、検証し、ブラッシュアップ

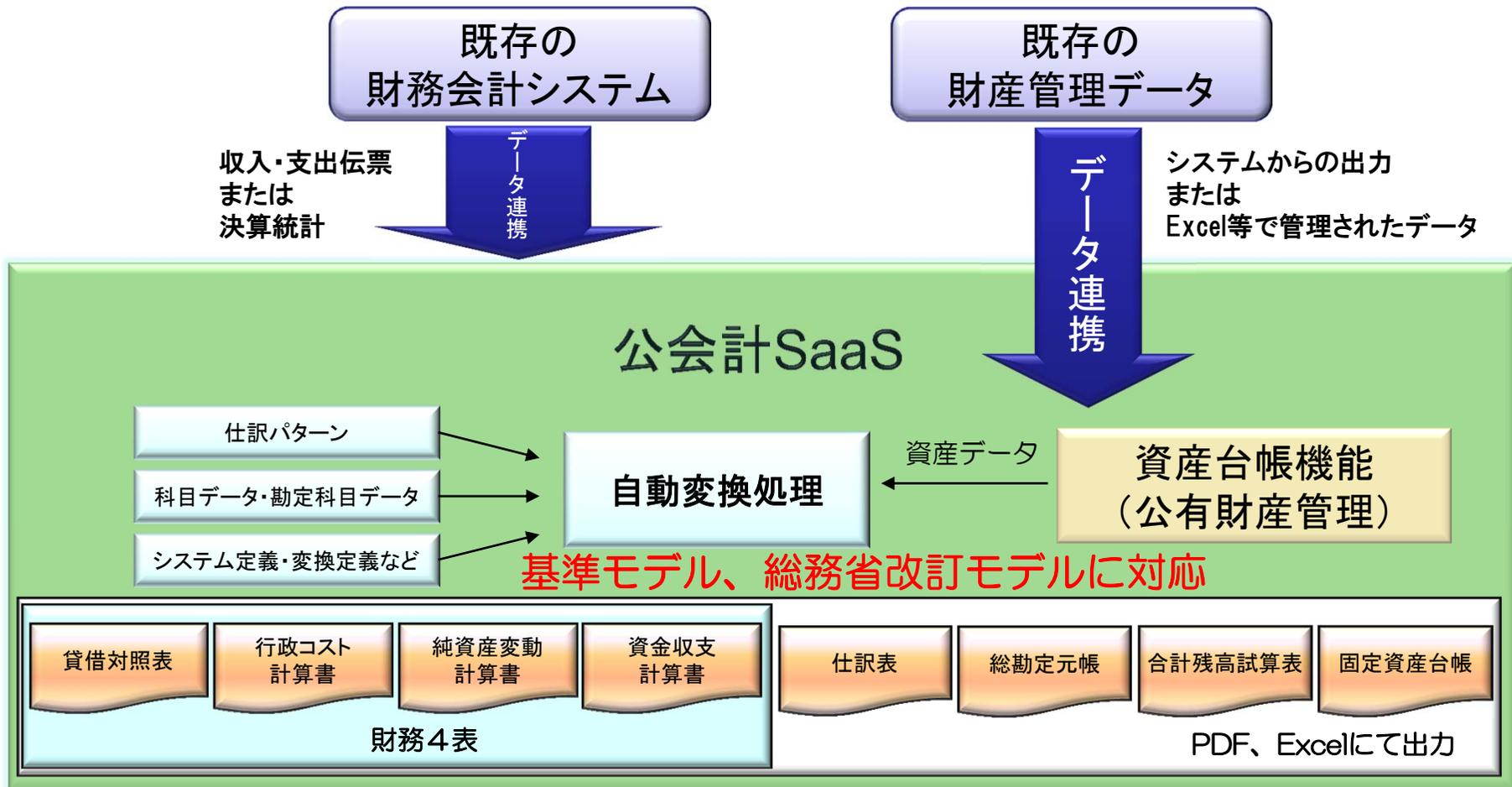
■総合行政パッケージ北海道モデル／推奨 ver1.0

- 1 住民基本台帳
- 2 印鑑登録
- 3 外国人登録
- 4 選挙人名簿管理
- 5 固定資産税
- 6 個人住民税
- 7 法人住民税
- 8 軽自動車税
- 9 収滞納管理
- 10 国民健康保険
- 11 国民年金
- 12 障害者福祉
- 13 後期高齢者医療
- 14 介護保険
- 15 生活保護
- 16 乳幼児医療
- 17 ひとり親医療
- 18 健康管理
- 19 就学
- 20 戸籍
- 21 こども手当
- 22 住登外管理
- 23 財務会計
- 24 人事給与
- 25 文書管理
- 26 重度医療
- 27 公会計

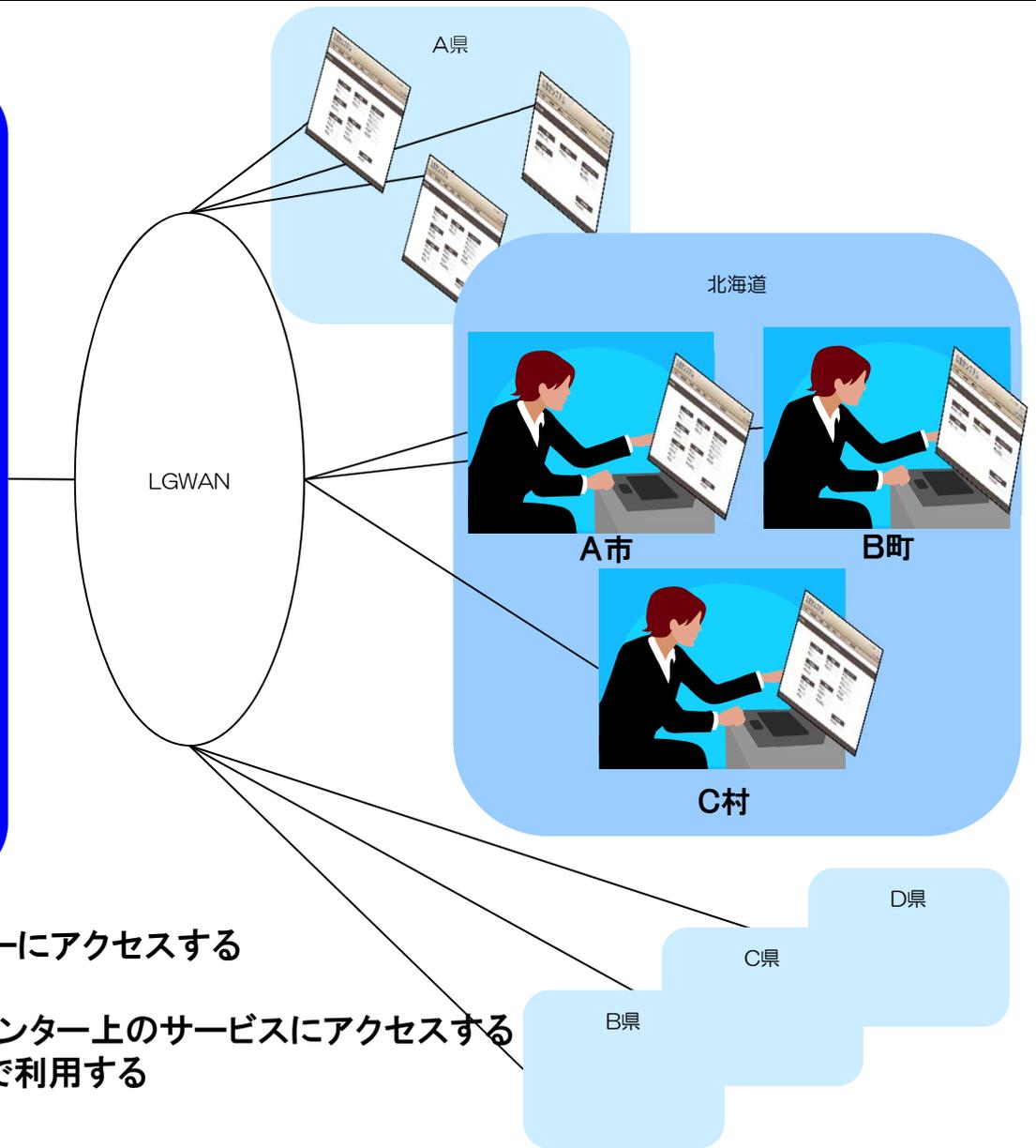


提供イメージ

■公会計SaaSの概要



■ SaaS型サービスの特徴



- サービスを利用する自治体は、一つのサーバーにアクセスする
(シングルインスタンス・マルチテナント)
- サービスを利用する際は、ブラウザでデータセンター上のサービスにアクセスする
- サービスはすでにあるものをノンカスタマイズで利用する
- 他サービスとの相互連携

自治体クラウド運用基盤の活用

セキュリティの担保

- ・ウィルスチェック
- ・侵入防止システム

LGWANファシリティサービス
データセンター

北海道自治体クラウド運用基盤

公会計サーバー



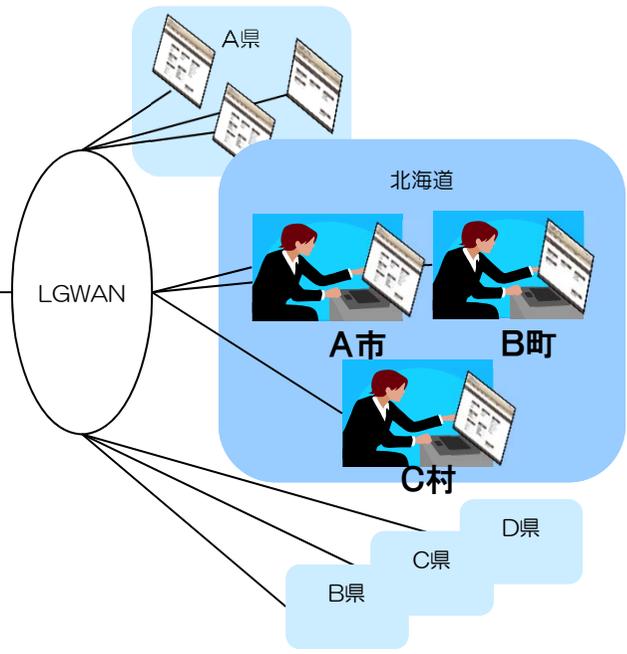
仮想化技術

- ・システムの2重化（冗長化）
- ・ハードウェアの共有
- ・柔軟なリソース割り当て
- ・イメージバックアップ

他のLGWAN-ASPサーバー

他のLGWAN-ASPサーバー

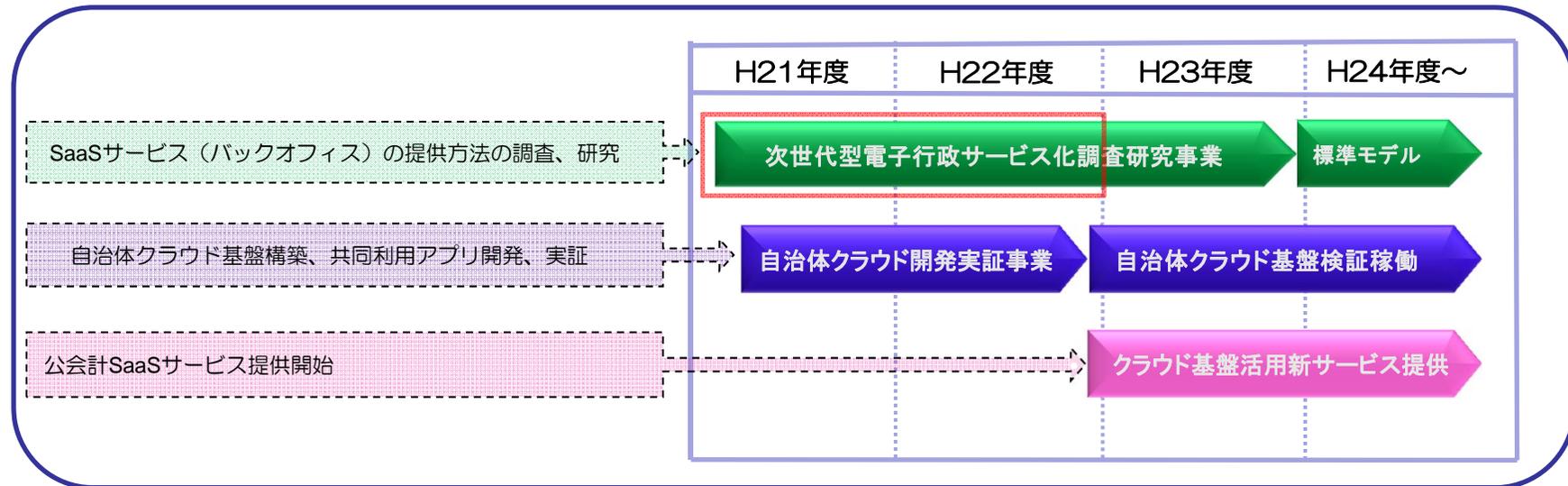
⋮



運用管理の効率化

- ・バックアップの統合
- ・運用の一元管理

■次世代型電子行政サービス化調査研究事業ー 自治体向けSaaSサービス提供方法の整理



平成21年度

・SaaSサービス提供方法の整理

平成22年度

・自治体向けSaaSサービス提供方法の整理

- ①プロトタイプシステムのブラッシュアップ
- ②プロトタイプシステム稼働環境の整備
- ③プログラム実証協力団体と連携したプロトタイプシステムの試行運用の実施

平成23年度～

・クラウド基盤を活用した公会計SaaSサービス提供開始